

平成23年度  
実施事業

平成 2 4 年度作成

事務事業名 市営住宅（登別旭団地）建替事業

区分	No	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
小分類	3	快適な公営住宅の供給
主要な施策	1	公営住宅の計画的な改修整備
事務事業番号	019	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 25 年度 会計種別 一般会計

部 名 都市整備部 グループ名 建築住宅G

事務事業の概要 《Plan・Do》

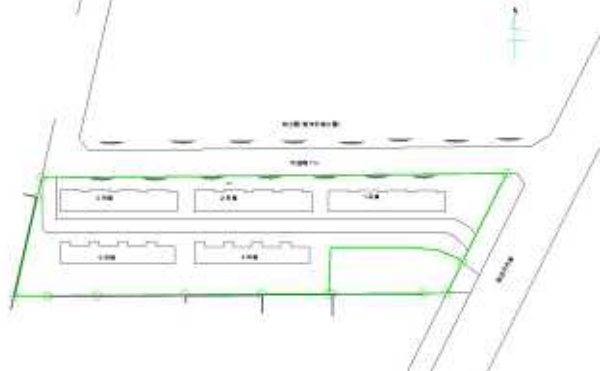
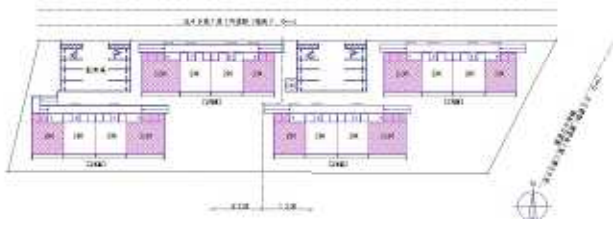
目的	<p>（事務事業の実施目的を具体的に記入してください）</p> <p>老朽化した市営住宅を計画的に建替えることにより、住宅に困窮する市民の居住の安定を確保するとともに、居住性能の向上を図ることを目的とする。</p>
事業内容及び実績	<p>（事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください）</p> <p>市営住宅登別旭団地について建替えを行う。 （既存5棟20戸から4棟16戸に建替え）</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況測量、地質調査、基本・実施設計（木造平屋建4棟16戸）</li> </ul>
今後の方向性	<p>（次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください）</p> <p>既存入居者に対し事業内容を事前説明しており既存入居者の期待は高く、事業計画に基づき継続して円滑に遂行する。（25年度で事業が完了する予定）</p>
根拠法令等	<p>（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください）</p> <p>公営住宅法、社会資本整備総合交付金交付要領、登別市営住宅等長寿命化計画</p>

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分	単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金 名称	千円		4,734	45,196	43,827	
道支出金 名称	千円					
地方債 名称	千円		5,000	110,400	115,100	
その他 名称	千円					
一般財源 名称	千円		94	21	38	
事業費 合計		0	9,828	155,617	158,965	0

指標の推移 《Check》

区分	単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	%	事業達成率	目標値	100			
		実績値		100			
	戸	建替が完了する住戸数	目標値			8	8
		実績値					

工事前	住所	登別市登別東町4丁目	工事後	
				
			<p>平成24・25年度に登別旭団地建替工事を行うため測量、地質調査及び基本実施設計を実施した。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について				
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	建物所有者である市が実施主体となつて、老朽化した市営住宅の居住性能の向上等を図る観点から建替えすべきである。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
		国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について				
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	住宅に困窮する市民の居住の安定を確保するとともに、耐用年数を超え老朽化した市営住宅の居住性能の向上を図るため、市営住宅の計画的な建替えを行う必要がある。
		市民アンケートの結果から必要性が高い		
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
		市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について				
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	事業について、国庫補助事業や有利な起債を有効活用できる。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
		将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について				
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	既存入居者及び当該町内会からの意見も参考にして設計を行っている。
		市民、団体等の声から成果を感じられる		
		目に見える形で成果があがっている		
		成果の把握は困難である		

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	住宅に困窮する市民の居住の安定を確保するとともに、耐用年数を超え老朽化した市営住宅の居住性能の向上を図るため、実施設計等の成果に基づき、継続して建替事業を計画的に行う必要がある。
-----------	----------------------	---

行政評価会議による評価

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--